

文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	兵庫県		2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化	
3 実施計画の名称	兵庫県歴史文化遺産総合活用推進事業			【計画の改善時期】 平成 年度	
4 実施計画期間	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度				
5 実施計画の概要					
兵庫県は、歴史や、風土、産業などの違いから、大きく摂津、播磨、但馬、丹波、淡路の5地域に分けることができ、それぞれの地域がこれまでの歴史等により培われた多様な文化を持ち、数多くの文化財（歴史文化遺産）を有している。 これまで兵庫県では、地域の特色ある歴史文化遺産を活用して「ふるさと文化の創造的伝承」を実現する『歴史文化遺産活用構想』をとりまとめ、各市町教委と連携して地域の歴史文化遺産の見直しやその特性を活かした活用策について検討してきた。 また、住民自らによる、地域の身近な歴史文化遺産を活かした魅力あふれる地域づくり、地域を愛する人づくりの推進を図るため、歴史文化遺産を発見し、コミュニティの財産として活用する「歴史文化遺産活用推進員（ヘリテージマネージャー）」の養成を全国に先駆けて実施してきた。 今回の事業実施にあたっては、この『歴史文化遺産活用構想』に基づき作成した「歴史文化遺産活用ガイドライン」（別添）を踏まえながら、以下の視点により企画・立案された歴史文化遺産を総合的に活用する事業を実施する。 ① 歴史文化遺産を発見し、その総合的な活用を図るヘリテージマネージャーの県下全域を対象とした育成事業 ② 市町域を越えて、市町教委や地域住民、NPO法人等が実施する取組で「地域おこし」や「まちづくり」につながる歴史文化遺産を総合活用する事業 ③ 隣接する市町・地域等が連携して歴史文化遺産の総合的な活用に取り組むことができるようなモデル事業 （1）兵庫県ヘリテージマネージャー人材育成事業（平成29年度～平成33年度） （2）兵庫県名勝部門ヘリテージマネージャー人材育成事業（平成29年度～平成33年度） （3）兵庫県みどりのヘリテージマネージャー人材育成事業（平成29年度～平成33年度） （4）ひょうごのお城ウォーキング事業（平成29年度～平成33年度） （5）兵庫県の民俗芸能公開事業（平成29年度～平成33年度）					
6 実施体制					
本事業は、兵庫県教育委員会事務局文化財課が全体計画の企画、調整、事業の指導等を行う。 また、事業の実施については、次の団体が実施。 兵庫県歴史文化遺産総合活用推進実行委員会 構成団体（兵庫県教育委員会事務局文化財課、みどりのヘリテージマネージャー会、兵庫県名勝部門ヘリテージマネージャー連絡会、ひょうごヘリテージ機構H2O、兵庫県無形・民俗文化財保護協会）					
7 実施計画における目標と期待される効果				別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成29年度交付決定額： 69,942 千円		平成30年度申請額： 2,495 千円	
(2) 実施事業の概要		別紙②のとおり			
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）					
本計画に基づく歴史文化遺産を総合的に活用する事業の実施により、県民が身近にある地域資源に関心や興味を持ち、そのなかに歴史や文化を見出していく機会となることが期待できる。 また、文化財保存団体や文化財所有者にも自己の文化財の価値を再認識してもらうとともに、様々な団体や住民との交流をきっかけとして、文化財保護・活用の意識向上を図ることができる。					
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）					
11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等					
平成15年3月に、兵庫県では、地域の特色ある歴史文化遺産を活用して「ふるさと文化の創造的伝承」を実現する『歴史文化遺産活用構想』をとりまとめ、各市町教委と連携して地域の歴史文化遺産の見直しやその特性を活かした活用策について検討してきた。この『歴史文化遺産活用構想』に基づき「歴史文化遺産活用ガイドライン」を平成19年3月に作成した。					
12 担当部局					
地方公共団体 担当部局課	兵庫県教育委員会事務局文化財課				

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1：	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 1：	地域に誇りを感じる住民の割合（具体的な指標は次のとおり）					
具体的な指標 1：	住んでいる地域には、自慢したい地域の「宝」（風景や産物、文化など）があると思う人の割合			関連事業：	①②③④⑤⑥	
目標値 1：	平成 29 年度	53 %	⇒	平成 34 年度	56 %	
設定根拠 1：	平成28年度までの毎年度平均伸び率0.6%を参考として、毎年度伸び率0.6%と設定。					
進捗状況 1：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
53 %	%	%	%	%	%	
0%						
目標区分 2：	地域の文化資源を核としたコミュニティの再生・活性化					
評価指標区分 2：	地域の文化遺産を活用した取組数（本事業の取組を除く）（具体的な指標は次のとおり）					
具体的な指標 2：	地域の文化遺産を活用した取組数			関連事業：	①②③④⑤⑥	
目標値 2：	平成 29 年度	206 件	⇒	平成 34 年度	306 件	
設定根拠 2：	ヘリテージマンスの参加件数の年度ごとの増加件数約20件を参考にして毎年度20件増加と設定。					
進捗状況 2：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
206 件	件	件	件	件	件	
0%						
目標区分 3：	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分 3：	祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数（具体的な指標は次のとおり）					
具体的な指標 3：	兵庫県無形・民俗文化財保護協会参加団体(175団体)の保存会会員数			関連事業：	⑥	
目標値 3：	平成 28 年度	100 %	⇒	平成 34 年度	100 %	
設定根拠 3：	兵庫県内各市町の人口減の状況から、現状維持を設定					
進捗状況 3：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
100 %	%	%	%	%	%	
#DIV/0!						

8 (2) 実施事業の概要 別紙

事業①：	兵庫県ヘリテージマネージャー人材育成事業 ヘリテージマネージャー大会（研修会）					実施団体：	ひょうごヘリテージ機構H2O				
事業区分：	人材育成					事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度				
事業概要：	県内の複数件の文化財建造物を巡り、維持管理等、現状の問題点などを把握する。その後、周辺会場でのシンポジウムで、これの考察を深め解決策を探る。また、シンポジウムの中で、地元の住民、他県からの参加者、県下各地のヘリテージマネージャーとが交流を図り、情報交換を行うことで交流・連携を図り、個の補完を目指す。										
評価指標区分：	・ヘリテージマネージャー育成講座修了者の後年度活動者数					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	ヘリテージマネージャー大会等のヘリテージ活動参加者数										
目標値：	平成 29 年度 140 (人) ⇒ 平成 34 年度 200 (人)										
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率										
平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度						
(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)						
事業②：	兵庫県ヘリテージマネージャー養成講習会（アドバンスコース）					実施団体：	ひょうごヘリテージ機構H2O				
事業区分：	人材育成					事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度				
事業概要：	養成したヘリテージマネージャーの総数は300名を超え、また養成から15年が過ぎ、ヘリテージマネージャーに対する行政や民間企業における社会的認知やニーズは、近年ますます高まっている。そこで、修了生を対象にした、より実践的な内容で講習会を実施する。										
評価指標区分：	・ヘリテージマネージャー育成講座修了者によるヘリテージ活動件数					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	ヘリテージ活動延べ件数										
目標値：	平成 29 年度 50 (件) ⇒ 平成 34 年度 70 (件)										
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率										
平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度						
(件)	(件)	(件)	(件)	(件)	(件)						
事業③：	兵庫県名勝部門ヘリテージマネージャー人材育成事業					実施団体：	兵庫県名勝部門ヘリテージマネージャー連絡会				
事業区分：	人材育成					事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度				
事業概要：	・少しでも多くの県民に活動の趣旨を理解していただくために、イベントに参加しミニチュアガーデン作りワークショップを開催する。 ・名勝部門ヘリテージマネージャが自立して活動できるように、研修会を開催し研鑽を深める。 ・この研修の一つとして荒廃しつつある現状をより理解していただくための、名勝庭園対象とした現況調査も可能なところから進めていく。										
評価指標区分：	・ヘリテージマネージャー育成講座修了者の後年度活動者数					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	指定文化財での庭園管理及び講習会などでの活動人数										
目標値：	平成 29 年度 20 人 ⇒ 平成 34 年度 60 人										
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率										
平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度						
人	人	人	人	人	人						

事業④：		兵庫県の近代歴史遺産をめぐる普及啓発事業			実施団体：		兵庫県歴史文化遺産総合活用推進実行委員会		
事業区分：		普及啓発			事業期間：		平成 30 年度 ～ 平成 33 年度		
事業概要：		平成30年に明治150年を迎えるが、本県においても明治以降の近代化により目覚ましい発展を遂げ、それに関連する歴史的な遺産が県内各地に分布する。明治150年という節目で、改めて県内の近代化に関連した歴史遺産を提示することにより各地域の住民が“地域の宝”を再認識し、これを活用した地域間ツーリズム、地域文化財発見活動等の幅広い活動を促す。県内41市町の代表的な近代歴史遺産を選定の上、県民を対象としたこれら現地を巡るツアーを企画、実施し、兵庫県における近代のあゆみを実体験する。また、このツアーで使うマップを作成し、これを県全域で活用出来るよう県内市町に配布し、兵庫県における近代化遺産の保存と活用を図るツールとして活用する。							
評価指標区分：		・その他				(具体的な指標は次のとおり)			
具体的な指標：		事業実施後における、該当市町での文化財ウォーク実施数							
目標値：		平成 29 年度 2 回 ⇒ 平成 33 年度 100 回							
進捗状況：		各年度、状況値、目標に対する達成率							
平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度				
回	回	回	回	回	回			回	
事業⑤：		ひょうごのお城ウォーキング事業			実施団体：		兵庫県歴史文化遺産総合活用推進実行委員会		
事業区分：		普及啓発			事業期間：		平成 29 年度 ～ 平成 33 年度		
事業概要：		旧5国からなる兵庫県には、県内各地に多様な城郭が存在する。世界遺産である姫路城には世界各地から多くの観光客が訪れ、国内外から日本の「お城」への関心がますます高まっている。これら城郭への関心の高まりを地域の活性化につなげる好機とし、その地域の魅力を伝えるために専門家の案内による城巡りウォーキングを実施する。							
評価指標区分：		・その他				(具体的な指標は次のとおり)			
具体的な指標：		事業実施後における、該当市町での文化財ウォーク実施数							
目標値：		平成 28 年度 2 回 ⇒ 平成 34 年度 15 回							
進捗状況：		各年度、状況値、目標に対する達成率							
平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度				
回	回	回	回	回	回			回	
事業⑥：		兵庫県の民俗芸能公開事業			実施団体：		兵庫県無形・民俗文化財保護協会		
事業区分：		普及啓発			事業期間：		平成 29 年度 ～ 平成 33 年度		
事業概要：		兵庫県内で行われている民俗芸能を一堂に公開することにより、そのすばらしさをより多くの県民に周知し、郷土を愛する心を高揚する取組として、民俗芸能発表大会を行う。この民俗芸能大会の開催をとおして、県内の各保存団体の保存継承、活用への意識の向上させ、少子高齢化等により民俗芸能の継承が困難な状況の解決につなげる。							
評価指標区分：		・フェスティバル出演団体の保存会会員数				(具体的な指標は次のとおり)			
具体的な指標：		兵庫県内各市町の人口減の状況から、現状維持を設定							
目標値：		平成 29 年度 100 % ⇒ 平成 34 年度 100 %							
進捗状況：		各年度、状況値、目標に対する達成率							
平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度				
%	%	%	%	%	%			%	